



観るモノ、見るモノ、オンリーワン全国唯一、飛び地の村で“ゆるり”

和 歌 山 県

北 山 村 の

暮 ら し

www.kitayamamura.net/kurashi

この村はみんなで500人くらいの小さな村。

奈良県と三重県に囲まれ、

和歌山県のどのまちにも隣接しない日本唯一の飛び地の村。

村のほとんどは豊かな山林で覆われ、

わたしたちは北山川をのぞむ集落でくらしています。

ここには筏・じゃばらなど、歴史や産業と、

ほんわかとした人々の優しさがあります。

何もないけど、何でもある。

そんな北山村での暮らしをのぞいてみませんか？

2 北山家の暮らし

3 お父さんの1日

4 子どもの1日

5 お母さんと子どもの1日

7 北山村MAP / 施設紹介

9 移住・子育て支援制度 / 村での学びと教育 / 新しい取り組み



家族紹介

- お父さん / 北山一郎(35歳)
大阪出身。北山村に移住し筏師として働く。
- お母さん/北山みどり(33歳)
新宮市出身。友人家族の後押しもあり北山村へ。
- 長女/北山川音(かわね)(7歳)
5歳の時に北山村へ移住、今では村が大好き。
- 長男/北山源(げん)(2歳)
北山村生まれ。村のみんなに可愛がられてのびのび育つ。

北山家の暮らし

北山村に3年前に移住した子育てファミリー。

田舎での子育てや暮らしに興味があった北山家は、筏師の募集をキッカケに北山村に移住。

村の生活にもなれてきた“北山家”の1日、1年を通し、北山村の魅力をお伝えします。



北山家の1年

北山村の1年は、北山川と山々にかこまれた豊かな自然の中で、

四季のうつろいを感じられる表情豊かな1年です。

村ならではの筏やじゃばらの産業が季節の変わり目を知らせてくれます。

- 1月** 新春の行事 心新たに一年のスタート。
元旦 初日の出を見に熊野市の海岸へ。海から昇る朝日に家族全員そろって合掌！
4日 新春消防出初式。今年から消防団に参加したお父さんの雄姿に、かわねもげんも両手を振って応援です。
- 2月** 寒さの厳しさもピーク。でも雪は少ない北山村。
上旬 毎年恒例の小学校マラソン大会、かわねは初参加！家族はもちろん浴道の応援も。
2月になると北山村名物じゃばら関係のテレビ取材がちらほら。げんはテレビ局のアンテナのついた車に興味津々。
- 3月** 寒暖の差が激しいものの、ウグイスのこえ、自然の花々に北山村の春を感じられます。
上旬には北山中学校卒業式、下旬には北山小学校卒業式と、きたやま保育所の卒園式と村も卒業シーズン。かわねは初めての卒業式にちょっぴりさみしいみたい。
- 4月** おくろ公園の桜が綺麗に咲き誇ります。
社会福祉協議会では毎年恒例のお花見が開催されます。ママカフェメンバーでも家族ぐるみの花見を企画！お花見当日、いい天気になりますように！
- 5月** 3日 北山川観光筏下り開航式。神事の後第1号筏がスタート！北山村の筏をはじめとしたアウトドアシーズンが始まります。キャンプ場・バンガローも賑わい、村全体が活気づく季節です。筏師のお父さんも忙しくなります。
- 6月** 村のあちこちでホテルが見られ、かわねもげんもおおはしゃぎ！
中旬 北山村も梅雨入り。熊野地方は多雨地帯のため、湿気が半端なく洗濯物がなかなか乾きにくいなど厄介な季節です。
下旬 2016年からはじまったカヌー大会(じゃばらカップ)が開催されます。有名選手も参加するので、家族そろって応援に！
- 7月** 雨や台風など自然災害に要注意。
村では一家に1台防災放送の受信機があり、警報や避難情報などが随時放送されるので安心です。
下旬 小中学校は夏休み突入、開放される村営プールは、滑り台もあり子どもたちに大人気！きたやまっ子はみんな真っ黒に日焼けします。
- 8月** 盆地のため、屋間の暑さは格別。
お盆前後は観光客もピークで村中が賑わいます。
15日 北山村追善盆踊り・柱松。子どもたちはこの日のためにずっと盆踊りの練習をがんばってきました。浴衣を新調したお母さんもウキウキ。
17日 このエリアで一番大きな熊野大花火大会があります。この日だけは大渋滞覚悟です。
下旬 北山村ラフティング大会があり、北山川特設コースには50チームが集います。
- 9月** 今月で筏シーズンも終わり。屋間の暑さは相変わらずですが、朝夕はかなり冷え込みます。筏メインだった夏をこえ、少しづつ山の仕事も入ってきて筏師のお父さんは季節の変わり目を実感します。
- 10月** 夕暮れがどんどん早くなり、じゃばらの実が大きくなってく頃。
中旬 村民運動会。保育所・小中学生と保護者、一般参加で地区対抗綱引きなど、競技も参加賞も盛りだくさん。北山家もおじいちゃんおばあちゃんを呼んで家族みんなで参加です。
- 11月** 自然の恵みをたっぷり受けて大きく育ったじゃばら。実りの秋。
上旬 小・中学生が自ら育てた作物を収穫するふれあい収穫祭が行われます。
中旬 村一番のイベント・じゃばらの里の収穫祭。じゃばらバーガーやじゃばら詰め放題のブース出展に、しし鍋の振る舞い、子どもたちに大人気のジャバライダーも登場し、夕方の大抽選会まで大盛り上がり。県内外の大人も子どもも北山村満喫の一日です。
下旬 小中学校学習発表会。かわねはもちろん、地域の子どもたちの成長をみんなで感じられます。
- 12月** 雲海シーズン。明け方、雲海が立ち込める日も多く、村の雲海体験ツアーも行われます。
上旬 保育所発表会。歌やダンスに英語での発表も！保育所からの英語教室で園児は自然に英語に親しみます。
中旬 福祉のげんき祭り。一番人気はステージから餅を投げる「餅ほり」。作品展示やうどんなどの出店も。この時期はクリスマスなどイベントがたくさんあり、子どもにはうれしい季節です。年末が近づくとお正月を迎える準備が各家庭で始まります。

お父さんの1日

北山家のお父さんは筏師。

雄大な北山川を水しぶきをあげながら下る観光筏を操ります。

北山村の自然に惹かれ、

3年前に家族で暮らしはじめました。

筏師の日常や、村での暮らしを紹介します。

●お父さん / 北山一郎(35歳)

大阪出身、9年前に結婚し、妻/みどりと長女/かわね(小1)、長男/げん(2才)の4人暮らし。

新宮では普通の会社員だったお父さん。ある日みどりが見つけた筏師募集をきっかけに北山村への移住と筏師になることを決意。

豊かな自然の中、趣味の山登りや釣りを楽しみながら筏師仕事に子育てに奮闘中!



朝 ある日の朝

お父さんは筏師。勤務時間が7時から16時なので毎朝6時には起きて朝の準備を行います。朝ごはんを長女のかわねと一緒に食べると、出掛ける前にはもう一度持ち物を確認!山や川など携帯電話のほぼ通じない場所で働くため、弁当とお茶を忘れると大変なのです。

7時前、「いってきますー!」と家をでると、近所に住む鶴田さんが朝の準備中でした。

一郎「おはようございます!昨日もおすぞ分けありがとうございました〜ほんま、鶴田さんの燻製は最高です!」

鶴田「そうか、今度の休みは猪肉のバーベキューや!一郎君も家族でおいで!」

ご近所の鶴田さんは、猟から調理まで全てこなすアウトドアの達人!

一郎は鶴田さんお手製のしし肉の燻製が好物で

昨日もおすぞ分けしてもらった燻製で、晩酌を楽しみました。

●鶴田さん

猟友会に所属し、獲物の解体から調理、加工までこなす達人。

自宅のガレージは、アウトドア用品や調理器具がずらりと並ぶ、男の隠れ家。



昼 筏師の昼休み

10時、お昼の時間です。朝早い仕事なので、お昼の時間も早めです。

お母さん手作りのお弁当を仲間と一緒に見晴らしのいい場所でいただきます。働く仲間の中には村外からアウトドア好きが高じて移住してきた人も多く、バイクや釣り、サーフィンなど、趣味の話でとても盛り上がります。

上滝「北山くん、この靴下おすすめ〜!自衛隊員用のなんやけど、強いし疲れにくいで!」

一郎「へえ〜!どこで買ったんですか?」上滝「通販!一足試しに使ってみて〜!」ありがとう〜!」

筏師という特殊な仕事。買い物もすぐそこでは買えないので、

使うモノや服なんかの情報交換はとても大事!

手袋や、長靴がお揃いなんてことも北山村ではよくある話(笑)

●上滝かずひろさん

岐阜県出身。職場では貴重な同世代。4歳と2歳の子どもがいる。

下の子は源君と同年で、家族ぐるみのおつきあい。

アウトドア派が多い中、数少ないインドア派の同僚。

一郎とはゲームのことやお笑いのことなど共通の話題で盛り上がる。



夕方〜夜 シゴトの後のお楽しみ

村唯一のコンビニ、おとろ公園のデイリーヤマザキは村民の憩いの場。駐車場も広く、ちょっとしたお菓子や軽食、日用品を扱っています。筏シーズンは一番体力を使うので、仕事の帰りはほぼ毎日、お菓子やアイスを食べに立ち寄るのが、お父さんの密かな楽しみ。夕食は18時頃、家族そろっての晩ご飯です。それぞれの一日の出来事の話でいつもとても賑やかです。



●筏師のシゴト

約600年前から木材を組んで上流から下流に運ぶ手段として栄えてきた筏流しは、現在、北山川の観光筏下りとして、5月〜9月までの5か月間、定期運航しています。7連結した筏で、激流の中、北山川の渓谷を下る筏師のシゴト。運航日以外やシーズンオフは北山村のじゃばらに関わることや、山仕事、保育園バスの送迎など、村に関わることを幅広く行っています。

子どもの1日

小学1年生のかわねちゃん。

一輪車と英語が得意で、週1度の英語の授業がとても楽しみ!

生徒の数が少なくても、みんなで一緒に遊ぶので

学年を超えて仲良し!先生も一人一人に向き合い、

個性を伸ばす教育をしてくれます。

かわねは北山の学校と友達が大好き!



●長女 / 北山川音(かわね)(7歳)

新宮生まれ。5歳の時に北山村に引っ越してきた。北山家で一番、村の生活やきたまま保育所に馴染み、今ではすっかりきたままっ子!

明るい性格でみんなから「かわねちゃん」と呼ばれています。弟のげんくんの面倒もよく見るいいお姉ちゃんです。

朝 おはよう!いってきます

お父さんと一緒に6時に起き、学校の準備や朝ごはん。7時15分にスクールバスに乗り小学校に向かいます。先生はみんな優しく丁寧に向き合ってくれるので、かわねは学校が大好きです。今日は週1回の英語の授業の日。アイルランド出身の先生が村の保育園から中学生までの英語をすべて担当していて、子ども達にも大人気です。

昼 みんなそろっていただきませー!

もう一つの楽しみが給食の時間。北山村は小学校から中学校まで給食があり、先生も子どもたちも、みんなランチルームに揃って一緒にいただきます。あたたかく、とてもおいしいのでかわねも給食が大好き!食べ終わると残りの昼休みはチャイムが鳴るまで校庭で一輪車の練習です。身軽なかわねは一輪車が得意で、新しい技の練習に夢中です。



みなみ先生「かわねちゃん、凄いいね!一輪車もうスピンできるようになったんやね!」

かわね「先生、このスピン、5回転できたら2級の技なんですよ!」

3回まで時々回れるようになったんですけど難しい!」みなみ先生「かわねちゃん、がんばってね!」

●みなみ先生

北山村に来て30年になる。休みの日はドライブで遠出したりするアクティブで多趣味な先生。

夕方〜夜 ただいま!帰ったよ〜

16時半 スクールバスで帰ってきます。お母さんとげんくんが家の前で近所のおばちゃんと立ち話。「ただいま〜!」「おかえりなさい!かわねちゃん、おばちゃんの作っためはり食べるかい?」「うん、おばちゃんのめはり、大好きやで〜!」村ではそれぞれの家庭でめはりをつくっており、それぞれの家庭の自慢のめはり、北山村の名物です。

お母さんと子どもの1日

お母さんはデザイナー。

長男のげん(2才)がいるので今は仕事はセーブしながら、のんびりマイペースで仕事と家事・育児をしています。

北山村生まれのげんは、人懐っこくやんちゃな男の子。

ママと子どもの普通の生活や

ママカフェなどのコミュニティを紹介します。



●お母さん / 北山みどり(33歳)

新宮市出身。職業：デザイナー。熊野地方のリーフレットやポスター等のデザインを手掛けるうちに、田舎で自然とともに生きる暮らしにあこがれを持つように。北山村には友人家族(上瀧家)が先に移住。情報収集はスムーズだったものの、村の暮らしには意外な発見もたくさん!

●長男 / 北山源(げん)(2歳)

北山村生まれ。保育所は3歳児~のため、来年から入園予定。今は週1のふれあい保育やママカフェでもやんちゃっぷりを発揮。

早朝 朝の準備は大忙し

一番早起きのお母さん。朝の5時はまだ暗く、もやがかかりとても静かです。北山村では早起きの家が多く、もやの中、家の明かりがポツポツ見えて幻想的です。みんなの朝ご飯の支度と、お父さんの弁当作り。長男のげんが眠っている間に、朝の準備を進めます。お父さんが会社に行き、かわねが小学校に行くと、朝のバタバタが一段落。起きてきたげんくん(2歳)と一緒にのんびり朝ご飯が始まります。

朝 てくてくお散歩

9時半、片付けも終わり、げんくんと日課のお散歩です。北山村には公園が数か所あり、歩いているだけで「げんくん、おはよう!」という人々が声を掛けてくれます。今日は村の保育所までお散歩。村の保育所は3歳児からですが、週に1回、入所前の子どもを対象に、ふれあい保育を実施しており、子育ての相談も気軽にできます。

なー先生「げんくん、おはよう!今日はいい天気やね〜!お母さん!今日は赤ちゃんたちが揃うから、みんなでベビーマッサージしますね〜!」

みどり「他のお母さんと一緒に、子どもの様子とかいろいろ話しながらマッサージすると、育児のこととか発達のこととか悩みが相談出来ていろいろ教えてもらえて助かります!」

なー先生「一人で抱え込んだじゃだめだよ〜!子どもはみんなの宝物やからね!」

●なー先生(保育園の先生)

北山村出身の保育園の先生。

休みの日は買い物や畑で野菜づくりなど北山ライフを楽しむ頼りになる先生。



昼 ママカフェでランチ会

今日はママカフェのメンバーで一品ずつ持ち寄りランチ会。げんくんもお友達のゆうくん、つばさくんと一緒でご機嫌です。ママカフェのメンバーとは日々の生活のことや育児のこと、週末のイベント情報や、新宮エリアの新しいお店の情報など、いろんな話題で盛り上がります。ママカフェはメンバーが自主運営しているので、スケジュールや企画も自分たちで無理なく楽しく行っています。

アンナ「来月のママカフェやけど、どうする〜?」

よーこ「暖かくなってきたし、たまには外で集まるのもいいかも〜!」

アンナ「いいね〜!お弁当持参もオッケーにして、やるやる!」

みどり「楽しみ〜♡げんが最近遊び食べがひどくて…外やったら気分転換で食べてくれるかもー!」

よーこ「あ、そういえば!この前かわねちゃんのおさがり、ありがとー!ピタリやったー!」

子どもの話題を中心に、貴重な若いママ達で集まるこの時間は、子育ての息を抜きつつ、刺激もある大切な時間です。

●西ノ峰アンナさん

北山村出身で特技は天気予報!

変わりやすい山の天気には360度対応可能!

●上滝よーこさん

みどりと同じ新宮出身で、旦那同士が同じ職場の貴重なママ友。

夏場は子どもたちと一緒に、筏の見学に行くことも!



夕方~夜 おくとり温泉へGO

夕方は家族そろっておくとり温泉に。おくとり温泉はレストラン・コテージ・じゃばらショップの入ったデイリーヤマザキを併設するきれいな施設。透明のいいお湯で露天風呂もあり、村民は通常600円のところが半額の300円で利用できます。村民限定のスタンプ台帳のお得なサービスも!家族みんなで来るのもよし。子どもを預けてのんびり来るのもよし。おくとり温泉は村のみんなのお気に入りスポットです。



じゃば子「いらっしゃいませ〜!げんくん、また大きくなったね〜」

みどり「こんにちは!もう抱っこするのが重いです〜!」

おくとり温泉で働くじゃば子さんは、以前保育士だったこともあり、いつも子どもの成長を温かく見守ってくれます。

あやすのもとでも上手で、子どもたちも温泉とじゃば子さんが大好きです。

●じゃば子さん

北山村出身。おくとり温泉スタッフ。

北山村の1年、北山家の1日はいかがでしたか?

ここに登場する「北山家」は架空の家族ですが、

北山家を取り巻く村の人々は、実在の村人をモデルとし、

村の暮らしの中のエピソードに基づいて家族の1日の物語を作成しました。

こんな風に“ゆるり”と“ほっこり”とした暮らしが北山村にはあるのです。



移住・子育て支援制度

北山村には移住や子育てを支援する制度がたくさんあります。
移住支援、子育て支援の制度をご紹介します。

●子育て支援

子どもの医療費無料

村で暮らす子どもの医療費は、18歳まで無料です。
(18歳となる年度の3月31日まで)

給食費無料(小中学校)

小学校・中学校の学校給食費は無料です。

保育所保育料無料

きたやま保育所は保育料無料です。(時間外保育等は有料になります)

出産祝い金

おさんが生まれると、出産祝い金として5万円が支給されます。

入学祝い金

保育所・小中学校入学祝い金として、1~3万円が支給されます。

●移住支援

若者定住促進事業/賃貸住宅の家賃補助

村内で住宅を借りて居住する方に対して、
家賃から1万円を除いた
50%を村が補助します。

住宅取得補助

村外からの転入者を対象に取得費の
10%(上限200万円)を補助します。取得金額を上限に、
小学生以下の子ども1人あたり100万円を加算します。

空き家改修補助

村外からの転入者を対象に空き家改修費用の
1/2(上限200万円)を補助します。
改修金額を上限に、小学生以下の
子ども1人あたり100万円を加算します。



村での学びと教育

小さな村だからこそできる学びと教育があります。
村の学びと教育の特徴をご紹介します。

小中一貫の連携授業

小学校・中学校の校舎は同じ敷地内にあります。授業を通して、小中一貫した学びが得られるよう、連携授業を行ったり、
小学校と中学校の先生同士の情報交換などによって、子どもたちが小学校から中学校まで充実した学びを提供しています。

英語教育の充実

北山村では小学生から英語教育を重視し、村独自でネイティブの先生に来ていただき、英語授業や、村塾を通して、
子どもの頃から本場の英語にふれて学ぶ機会を提供しています。小学生はカードやゲーム形式などで、楽しみながら学び、
中学生では研修に向けて会話の強化を行うなど、年齢に合わせて学べる英語の授業は子どもたちにも大人気です。

中学生の海外語学研修の実施

村で力を入れている英語教育の一環として、中学生は英語圏への海外語学研修を行います。小学生の頃からネイティブの先生に
学んだ英語力は海外でも発揮され、何を言われているか不思議と分かる子どもも多いといいます。中学生と言う多感な時期に、
海外での研修を通して、語学を学んだり、海外の文化に触れることは、子どもたちにとって、とても良い経験になっています。

村塾

村には民間の塾はありませんが、村が無料で村塾を運営しています。
週に1回づつ書道教室と英会話教室が行われます。料金は無料です。

他校との交流学习の推進

近隣の小学校と交流学习集会を実施しています。子どもの少ない北山村ですが、他校との交流機会を設け、
色んな人との関わりをもつ機会を提供しています。じゃばらの収穫を一緒に行う体験型の学習会を通して交流を深めています。

高校進学育英奨学金

高校に進学するお子さんを対象に、月額2万円・無利子の村独自の奨学金制度があります。



新しい取り組み

村での暮らしを楽しく、豊かにしていくために、
村の中でのコミュニケーションやさまざまなプログラムを試行しています。
村の方の得意を活かしたプログラムや、遠隔プログラムなど、
村の暮らしを楽しくする取り組みを村のみなさんと一緒につくっていきます。

ママカフェ

小さなお子さんのいるお母さんを中心に、子どもたちとお母さんが気軽に集う会を開催しています。
平日の午前中(不定期開催)に、村民会館などで集まり、子どもたちと一緒に遊ばせたり、
お母さん同士は世間話から、子育ての相談まで色んな話をしながら交流しています。



村フォトワークショップ

村の魅力をカメラのレンズを通して発掘しよう!をテーマに、
プロのカメラマンを講師にお招きし、村フォトワークショップを開催しました。
また、2016年のじゃばら収穫祭では、村フォトワークショップ参加者の写真を使った
プチ展示も行い、村の魅力を発信しました。



焼きたてパン教室

村の方の"得意"を活かした教室シリーズの第1弾として、焼きたてパン教室を開催しました。
手作りパンが得意な村の方が講師となって、パン生地づくりから焼きまで、
パンづくりのノウハウを伝授しました。
子どもからお年寄りまで幅広い方が参加しパン教室を楽しみました。



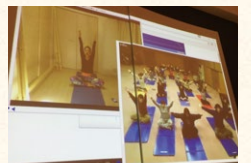
男子厨房&村パーティ

男子厨房&村パーティと題し、あまり交流の機会のない村の男性をターゲットにした料理教室と、
試食を兼ねた村パーティを開催しました。小学校のランチルームを子どもたちが飾り付け、
素敵なパーティ会場になりました。完成した美味しい料理を囲み、
家族や村の方々と交流しながら、美味しく、楽しい村パーティとなりました。



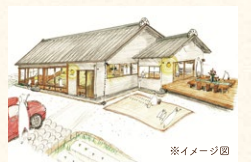
ヨガ教室

北山村での学びや体験の機会を、ウェブ会議システムを活用して広げる遠隔プログラム。
その第1弾として、ヨガ教室を開催しました。
子どもからお年寄りまで多くの方が参加し、遠隔プログラムの新鮮さと、
北山村ではなかなか体験できないヨガ教室を楽しみました。



拠点づくり

北山村への移住を促進するため、村での暮らしを体験できる「お試し住宅」の機能と、
普段は、村の方々が気軽に集えるコミュニティの場として、拠点づくりを進めています。
拠点は、民家を改修し、みんなが集いやすい場所づくりを進めています。



※イメージ図

和歌山県
北山村の
暮らし

発行元／北山村役場 〒647-1603 和歌山県東牟婁郡北山村大沼42
TEL. 0735-49-2331

www.kitayamamura.net/kurashi